



「富富富」通信(第2号)

令和5年7月13日
JA アルプス「富富富」ブランド化推進協議会

【管内調査圃場の生育状況】

近年に比べて草丈は並み、茎数は少なく、葉色と葉令の展開は並みとなっています。
管内平均の5月15日移植の圃場での幼穂形成期は7月11日となり、近年並みとなっています。

【目標とする生育量の目安】

生育状況に応じた適切な水管理と穂肥対応により、目標とする生育量(表2)に誘導してください。

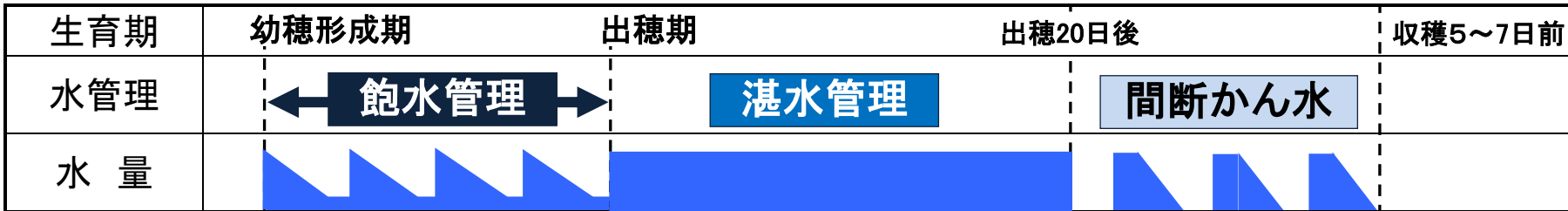
収量が安定し、良食味・高品質米に仕上がります！



1 幼穂形成期以降の水管理

- ・稲体や根の健全化のため、幼穂形成期から出穂期までは飽水管理を行いましょう。ただし、葉色が濃い場合は間断かん水を行いましょう。
- ・稲体の活力を維持し、胴割米の発生を防ぐため、出穂期から20日間は湛水管理とし、刈取り5～7日前までは間断かん水を徹底しましょう。
- ・下流域まで十分に水が行き渡るようかけ流しをやめ、地域での計画的な用水の利用に努めましょう。

【生育中の水管理のイメージ】

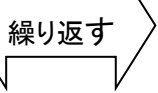


飽水管理とは

『飽水管理』 入水後→自然落水→入水(出穂始めまで繰り返す)



「田面の高い部分が隠れる程度」



繰り返す



「この状態になったら入水」



「この状態は乾かしすぎ」



足跡の水を切らないように

2 穂肥施用

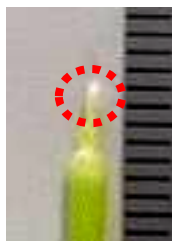
① 基肥一発肥料

- ・原則、追加穂肥は施用しないてください。

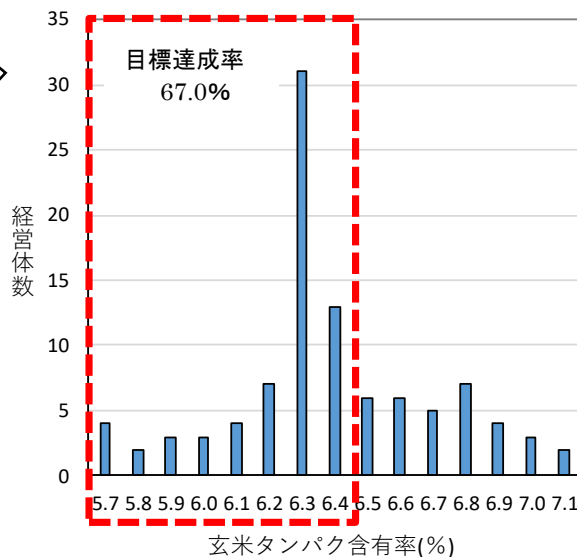
② 分施肥系

- ・表3を参考に、必ず幼穂長を確認してから施用してください。

玄米タンパク含有率の目標は **6.4%以下**
過剰な施肥で高くなるので注意しましょう。



幼穂長 1～2mm



玄米タンパク含有率の分布(R4年産 富富富)

表3 土壌区分別穂肥施用量の目安

土壌区分	肥料名	施用量 (kg/10a)	
		1回目 (幼穂形成期の7日後)	2回目 (1回目の7日後)
砂壤土	追肥3号	5～7	10～13
壤土・黒ボク土			10～12
粘質土			10



幼穂形成期に目標生育量を超えている場合
1回目穂肥は施用せず、幼穂形成期の14日後に追肥3号で10kg/10a施用してください。

3 病害虫防除

【YouTube】
14 本田基本防除



○今年もカメムシ類が管内全域で多く発生しています。2回の基本防除を確実に実施しましょう。

○「葉いもち」の防除は省略できますが、「**穂いもち**」の防除は必須です。

・「令和5年産 富富富病害虫・雑草防除について」記載の防除体系(①一般タイプ、②省成分タイプ、③紋枯病常発地タイプ)のいずれにおいても、表4のとおり基本防除を実施して下さい。

表4 防除体系

	穂 揃 期	傾 穂 期
粉 剤	ラブサイドキラップ粉剤 DL (収穫 14 日前まで)	スタークル粉剤 DL (収穫 7 日前まで)
	散布量: 4kg/10a	散布量: 3kg/10a
液剤体系 《通常散布》	ラブサイドフロアブル 1,000 倍(収穫 7 日前まで) ＋ キラップフロアブル 1,000 倍(収穫 14 日前まで)	スタークル液剤 10 1,000 倍(収穫 7 日前まで)
	散布量: 150L/10a	散布量: 150L/10a
液剤体系 《空中散布》	ラブサイドフロアブル 8倍(収穫 7 日前まで) ＋ キラップフロアブル 8倍(収穫 14 日前まで)	スタークル液剤 10 8倍 (収穫 7 日前まで)
	散布量: 0.8L/10a	散布量: 0.8L/10a
対象 病害虫	いもち病、カメムシ類、 ウンカ類	カメムシ類、ウンカ類、 ツマグロヨコバイ
成分数	2	1



適期のカメムシ防除で
斑点米の発生を防ぎ、
1等米※に仕上げましょう
※流通基準要件です！

注意！

「富富富」は「**化学合成農薬の成分使用回数は12回以内**」を厳守する必要があります。
この栽培条件を満たさない場合、「富富富」として消費者に販売できません！
左記防除の前に今一度農薬使用状況を確認しましょう。

※散布の際は、農薬のラベルに記載された使用基準を必ず守りましょう。

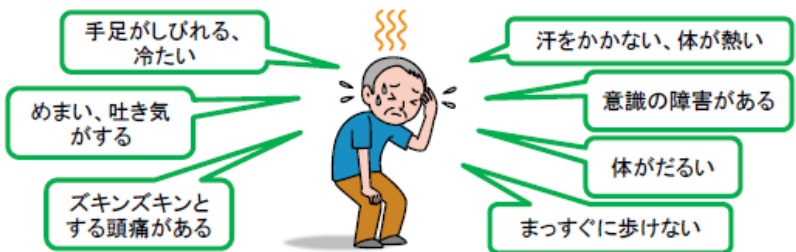
4 熱中症対策

熱中症対策のポイント

- ※農作業の前に、気象情報や「暑さ指数 (WBGT)」をチェックし、気温が高くなることが予想される場合は、激しい作業は避けましょう。
環境省ホームページ「熱中症予防情報サイト」
<https://www.wbgt.env.go.jp/>
- ※日中の気温の高い時間帯を避けて作業を行いましょう。
- ※屋外の作業では、帽子や吸湿速乾性の衣服の着用など熱中症対策アイテムを活用しましょう。
- ※屋内の作業では、必要に応じ送風機やスポットクーラーなどを利用しましょう。
- ※のどが渇いてなくても、20分おきに休憩し、毎回コップ1～2杯以上を目安に水分補給しましょう。
- ※作業はできるだけ複数で行い、時間を決めて体調確認を行いましょう。

熱中症が疑われる場合は、すぐに作業を中断して応急処置を行うか、病院で手当を受けましょう。

○熱中症による代表的な症状



○応急処置の例

- ・涼しい場所へ避難しましょう。
- ・服をゆるめて風通しをよくしましょう。
- ・水をかけたり、扇いだりして体を冷やしましょう。
(脇の下、両側の首筋、足の付け根を冷やすと効果的。)
- ・水分や塩分を補給しましょう。

「みんなが一丸となって
本県を代表するブランド米
に育てよう!!」



「富富富」通信第3号(収穫乾燥調製等)は、8月25日頃の発行予定です。